



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学校友会

千葉県西部支部だより

第15号

2019年
夏

発行：明治大学校友会千葉県西部支部 〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-485-25 発行人：前田 勝己

第55回 明治大学全国校友千葉大会

やっさい! もっさい! おっさい! 来たいよ総の国
明治はひとつ

第55回 明治大学全国校友
千葉大会
2019.10.5(土) → 8(火)

主催 明治大学全国校友千葉大会実行委員会

10/5(土)
支部長・幹事長・地域支部長・本部員懇談会
前夜祭
●東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート
(浦安市舞浜)

10/6(日)
エクスカーション(半日・2コース)
▶成田山新護国寺参拝 ▶マンドリン倶楽部ランチコンサート
第1回 記念式典 (ホテルグリーンタワー幕張)
第2回 記念講演
いすみ鉄道 代表取締役 鳥塚 亮氏(伊豆)
●幕張メッセ(千葉市美浜区)
第3回 懇親会
●ホテルニューオータニ幕張
(千葉市美浜区)

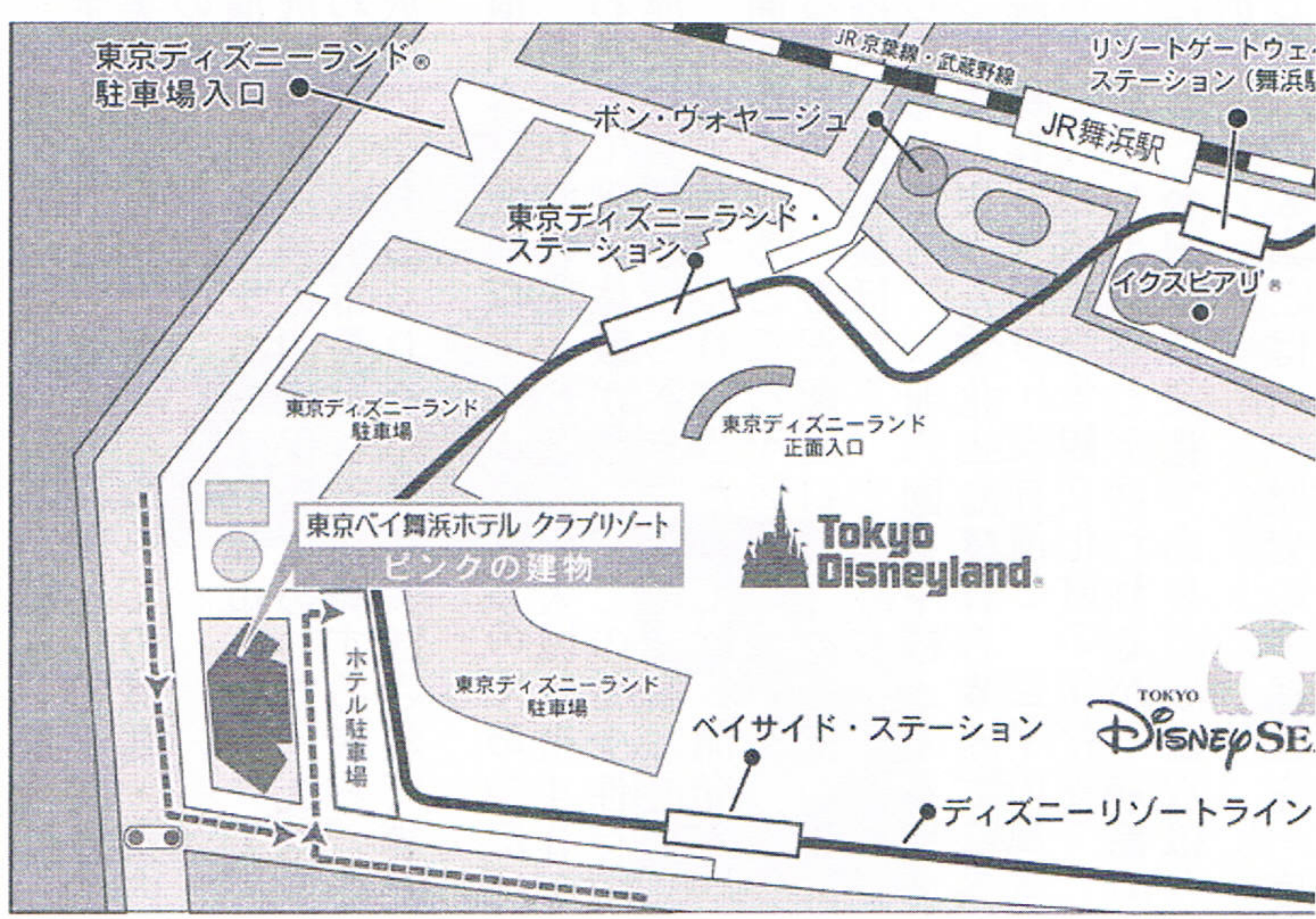
10/7(月)・8(火)
エクスカーション(県内各地)
記念ゴルフ大会(真名カントリークラブ)

前夜祭 2019.10.5 (土) 午後5時~
会場 東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート
浦安市舞浜1-7

大会 2019.10.6 (日)
記念式典 午後2時30分~
記念講演 午後4時~
会場 幕張メッセ
千葉市美浜区中瀬2-1

懇親会 午後5時30分~
会場 ホテルニューオータニ幕張
千葉市美浜区ひび野2-120-3

明治大学全国校友千葉大会実行委員会事務局
〒261-0021 千葉県美浜区ひび野2-10-3 [ホテルグリーンタワー幕張]内 TEL 043-296-3676



第15回 千葉県西部支部総会開催

昨年6月17日(日)に第15回千葉県西部支部総会が、柏市の「ハート柏迎賓館」で開かれた。



総会には、ご来賓の方を含め130名の参加者があり、今回の担当地域支部である我孫子地域支部長の関俊雄副支部長の開会の辞で始まり、最初の挨拶が長く、司会が時間を調整するの苦労が伺えました。議事は例年通り、事業報告、収支報告、監査報告、事業計画案、収支予算案が審議され、最後に支部会則の改正が議案として提出されました。2014年の代議員総会以降、本部会則が数回改正されましたが、それに伴う支部会則の改正も今回で一段落したかと思えます。ご出席の皆さまのご協力により、議事は滞りなく進行しました。

議事終了後、ご来賓の祝辞をいただきました。大先輩より学務担当の鈴木利大常勤理事、校友会より松本稜監査委員の挨拶があり、総会の最後に清水潔副支部長の閉会の辞で終了しました。懇親会は、竹之内明副支部長の開会の挨拶、ご来賓の千葉県東部支部の吉田耕太郎幹事長の挨拶、櫻田義孝衆議院議員の挨拶、そして行木勝雄名誉支部長の乾杯の音頭で始まり、はじめて翌年に迫った「第55回全国校友千葉大会」について前田支部長から話があり、日程、開催地が決定した中、実行委員会が本格的に活動を開始したとの報告がありました。県内2つの支部の共同開催という調整の困難な状況で、開催に向かう高揚感と不安の入り交じった感情が伝わってきました。

アトラクションは応援団とチアリーディングで、さすがは明治大学のチアリーダーと思える活気溢れる演目でした。若い力で会場も大いに盛り上がり、楽しい時間をみんなで共有しました。最後は応援団出身の石原敏和会員の号令の下、恒例の校歌斉唱を行い、締めは山中勇副支部長の閉会の挨拶で平成最後の総会が終了しました。

今回の総会には、昭和22年から平成30年卒まで幅広い年齢層の校友が参加し、様々な時代を学生として過ごしている人々が「明治大学」の名の下に一同に集まるすごさを感じざるを得ませんでした。この気概、団結力があれば、千葉県で開催する全国校

友大会も必ず成功するでしょう。また、大学に近い千葉県西部支部は、これからの卒業生が増え、いよいよ卒業生が増えていきます。今までは卒業生が参加していませんが、今年度は卒業生も増え、いよいよ卒業生が増えていくことを考えると、運営する側も必要と組織を改善する必要があります。最後に、総会・懇親会の司会を担当された辻長一郎常任幹事と我孫子地域支部の猫田岳治幹事の御尽力により、進行が滞りなくすんだことを感謝します。

(昭62年法卒 武士田卓志)



第54回全国校友石川大会開催

昨年9月30日に第54回全国校友石川大会が石川県金沢市で開催された。記念式典・記念講演の会場は「石川県立音楽堂」、懇親会の会場は「ホテル日航金沢」であった。この大会には全国各地から約1000名の校友が参加し、地元石川県の知事(代理)、山野之義金沢市長、明治大学の柳谷孝理事(土屋恵一郎学長をはじめとする理事・学部長、今村健明治大学連合父母会長など内外の来賓を迎えて、盛大に執り行われた。なお、わが千葉県からは80名が参加した。

記念式典は、中村驍大会実行委員長の開会宣言に始まり、次いで安井克郎石川県支部長から歓迎の挨拶と共に加賀百万石由来の「おもてなし文化」と伝統芸能、四季折々の自然環境、豊かな食文化、北陸新幹線開通による交通アクセスの飛躍的な改善等石川県の魅力についての紹介があった。

次いで、向殿政男校友会会長が挨拶に立ち、大会開催の準備・実行にあたった石川県支部に対して感謝の言葉が贈られた。



その後、来賓の方々からの祝辞が続き、最後に、次年度の全国校友大会開催の代表として小関道生と大会への参加要請を行った。記念講演の演題は「まちづくり都市 金沢」で、講師は金沢市の前市長の山出保氏であった。氏は5期20年にわたって金沢市長として在職する傍ら、この間に金沢市のまちづくりを指揮し実践されてきた方である。

その講演内容は概ね以下のようであった。①金沢は、前田利家の1583年の入城以来430年余りにわたって戦の体験がない。この希少性存続のため「歴史に責任を持つべき」との認識が必要。このため、市のまちづくりには、開発するところと開発から守るところを区別している。

「開発するところ」 金沢駅西口から港へ広がる区域(金沢港口、旧駅裏ほか) (開発から守るところ) 兼六園を中核とする地域は、ひとつのまとまった文化として保存する。(茶屋街、寺院の保存、雪吊り・友禅流し、芸事の風景、芸妓衆のもてなしの風景等景観文化財の保存等) ②金沢は、古都とか小京都とか言われるが、京都の公家文化に対し、金沢は侍文化であり、「金沢は、やはり金沢」。

「金沢らしさ」の要素とは、「歴史の多様性を一度に見ることができ」、「癒しがある」、「どんなことにも生半可でない拘りがある」、「思いやりがある」ということだ。こうした考え方をベースにして金沢はまちづくりを行ってきたというのが本講演の主旨であった。

懇親会は、午後5時から「ホテル日航金沢」に会場を移して開催され、ご当地の伝統芸能「金沢三郎芸妓」による「素囃子」に始まり、歓迎の挨拶、鏡開き、乾杯の後、懇親パーティーに入った。

最後に、次年度全国大会開催県に対するPRの時間が用意されていたので、実行委員会会長、実行委員長をはじめとする多数の実行委員会メンバーが登壇し賑やかに千葉大会のPR活動を展開し、会場は一層の盛り上がりを見せた。屋外は、台風直撃の荒れ模様であったが、会場は、熱気にあふれていた。

いよいよ、次は、わが千葉県大会だという意識の高まりを感じた石川大会参加であった。

(昭38年商卒 支部長 前田勝己)



浦安地域支部

浦安地域支部の活動について

今年の浦安地域支部は例年にも増して忙しい一年になりそうです。

ご存知のように、今年の秋に全国校友千葉大会の前夜祭（10月5日土曜日）が、浦安にある東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートで開催されます。現在、地域支部会員一同一丸となって、お客様をお迎えすべく、準備を整えているところです。

また、千葉県西部支部として、様々な地域の文化を披露すべく、関係団体のご協力を得ながら、アトラクションを計画しておりますので、是非、他地域支部の会員の皆様にも前夜祭にご参加いただき、盛り上げていただければと思っております。

浦安地域支部は今年の5月の総会で役員の改選が予定されております。近年高齢化が進み、健康の関係で役員を辞退される方がいらつしゃいます。今回は3人程度の入れ替えを考えておりますが、先輩方が役員を引退されていく姿を見ることは寂しさでいっぱいです。

新会員の方も少しずつではあります。若い卒業生が加入してくれています。しかし、現役世代ですので、なかなか会議への出席が出来ない状況になっていきます。それでも、昨年12月のラグビーの試合応援では若い会員も参加していただき、大いに盛り上がりました。結果は残念でしたが、イベントを開催するごとに若い会員が参加していただければ良いと思っております。この勢いを今後も継続していき、地道に会

員を増やして、世代交代を図りたいと思っております。

今年も地域に根差した浦安地域支部として活動してまいる所存ですので、皆様方のご鞭撻をよろしくお願いいたします。

（昭52年法卒 板橋純三郎）

柏地域支部

癌との共生について

今年で81歳になる高齢者です。神奈川県小田原市から千葉県柏市に移り住んで34年、新潟県の越後湯沢で12年暮らした後、昨年7月に柏市へ戻りました。

最近、身の周りで多くの人たちが癌を患っています。わたしも肝細胞癌で、次々と発症し14年で7回の手術を経験しています。経験者として少しでも役に立つなら、と書いてみました。わたしが癌と共生する方策は以下の通りです。

（1）人を笑わせる

笑いを作り、相手の笑いをもらって自分が笑う。「あんな面白いね。道を間違えたね。アルキハイマーです。」

（2）朝を迎える

人生百年時代「長生きの秘訣は元気で朝を迎えること。余分な悩みは不必要」朝は十月十日の組み立て四文字。人は朝が来て生まれ変わります。

（3）非真面目（ひまじめ）に生きる

真面目には3つの種類「生真面目（きまじめ）」「真面目（まじめ）」「不真面目（ふまじめ）」があり、生真面目に暮らせば堅苦しい。真面目に暮ら

せば面白くない。不真面目に暮らせば人生を踏み外す。不真面目に至らず、真面目に非ず、明るく笑う非真面目な生活。

病室のベッドで天井と床と四方のカーテンだけの空間で何度も自分と対話しました。自暴自棄になるより人助けしよう。人から常に笑われるようになろう。過去の鎧を脱ぎ捨てて、ただの年寄りになろう。癌経験者として元気の手本になろう。癌患者を笑わせよう。愚痴は自ら心を汚すだけです。生きるとは、自ら喜び、笑いを作り、人を笑わして元気をいただく好循環です。

あと一つ、最も大切なのは家族です。人は一人で生まれ、結婚して二人になり、二人のまままで生きるか、何人かに増えるか、どちらにしてもやがて一人になります。それが流れでしょう。その流れに身を委ねて様々な景色や夢を見るわけです。一人のままだと最大の批判者が傍にいないわけですから、自分を褒め、自分を批判し、自分を慰め、自身の中に和と輪を構築して対話が続ける力が必要になります。私も笑ったり、泣いて涙を流したりすることがあります。しかし私には家族がいるので、涙を枯らすまで泣けば元気が戻ります。家族の力でいつもの自分に立ち戻ることができるのです。

身近な漢字一つからでも様々に考えを広げられるのは、小田原高校と明治大学で学業とは別に授かった知恵の賜物だと思えます。校友とは大事な財産、「ああ言えば、校友会」お粗末でした。

（昭36年商卒 吉田昇司）

船橋地域支部

地域支部の一年

船橋地域支部は発足して、今年で15年目を迎えることができました。

この間、地域支部の地道な活動が実を結び会員160名ほどになりました。これはひとえに、役員および会員のご協力とご支援のお蔭と感謝しております。

地域支部の目的は、大学への賛助・地域社会への貢献であり、会員の交流・親睦および増強を図って、明治大学の発展に寄与できるように明確な事業計画を立て、諸活動を積極的に進めてまいります。

具体的な実施にあたっては、毎月1回役員会において、事業計画および実施内容の審議検討を行い、各事業の案内チラシの作成および役割分担等を決めています。また、各事業実施により会員の交流と親睦等を図っております。

今年の主な行事内容として、4月：総会資料準備、5月：ホースセラピィ、定時総会および懇親会、6月：千葉県西部支部総会、ゴルフコンペ、7月：船橋市民まつり（大学PRと大学のグッズ販売）、全国支部長・地域支部長・本部長懇談会、定時代議員総会、8月：夏季懇親会、9月：麻雀大会、ナイター競馬観戦、10月：第55回全国校友千葉大会前夜祭（浦安市）、記念式典・記念講演・懇親会（千葉市）、エクスカッション、ホームカミングデー、懇親旅行（焼津市）、11月：ゴルフコンペ、麻雀大会、12月：ラグビー観戦（明治大学対早稲田大学）、冬季懇親会、2月：幹事会（事



業報告・予算決算審議)、この他に第6回歩こう会の実施(国宝迎賓館・生田キャンパス)等計画しております。

最後に役員全員が、明るく・楽しく・仲よくをモットーに「前へ」進めて参ります。さらに、本年度の最大行事である第55回全国校友千葉大会の成功を願って「明治はひとつ」を合言葉に会員の協力を呼びかけて参ります。

(昭43年政経卒 穴澤豊治)

松戸地域支部

地域支部に関わって

桜の花が満開の頃、入学式も終わ期待望の大学生活も始まり、勉学に励もうとした矢先、突然、大学による学校閉鎖となりました。

そこから私の明治大学での学生生活が始まりました。学生時代は学友と神宮球場での野球応援や国立競技場でのラグビー応援等で学生生活をエンジョイして過ごしました。社会人になって数年はとくに学校との関わりもなく過ごしましたが、仕事の関係で松戸市での勤務となり、五十歳の頃、思いがけなく松戸地域支部の創立に関わることになりました。設立大会に向け会員集めに奔走して、ようやく設立にこぎ着けました。今になっても当時の苦労が思い起こされます。会員も次第に増え、会の運営も順調に推移してきたように思われます。数年前から幹事長という役割に就きましたが、会員のみなさまの協力があり何とか果たすことができているので、とても感謝している

次第です。

とにかく何があっても明治は一つの精神で一致団結するところがすばらしいと思っております。

支部活動の中では大学への賛助、会員相互の親睦、地域への貢献の三つを柱に運営をしていますが、とくに地域への貢献としては、マンドリンクラブを招いてのチャリティコンサートの開催があります。昨年までに5回開催して、老人介護施設へ車イスを贈呈し、累計で百台近くになりました。コンサートのためと幹事の皆さんと各施設に配りに行くと、行く先々でも喜ばれるので苦労した甲斐があります。5回のコンサートのうち4回はペギー葉山さんをゲストに呼んで大変好評を受けましたが、今回は由紀さおりさんを迎えました。初めてなのでどうなるか心配しておりましたが、由紀さんはとても気さくな方で愛想も良く安心してました。

どの地域支部も同じだと思いが、会員の高齢化が進み、若い新規会員が増えないのが悩みです。今後とも運営には、みなさまのご協力をお願いいたします。(昭47年政経卒 森 茂)

流山地域支部

支部の定例行事の紹介

千葉県西部支部の会員の皆様、まずはラグビー部の大学選手権優勝おめでとうございます。本当に長い間待たさされましたね。

さて、流山地域支部は2007年7月23日に設立されてから今日まで、地域支部総会、幹事会、バスハイク(原則として春、秋の2回開催)、新年

会、忘年会、ラグビー明早戦、西部支部総会・全国大会参加、また、三地域支部の共同事業として、マンドリンクラブ演奏会とゴルフ大会に参画してまいりました。これらの定例事業の中で最も参加者数が多く人気の高いのがバスハイクです。流山支部のバスハイクの特徴は、往復の移動時間に車内で見学先に関する情報や支部会員が興味ありそうな情報について、配布された資料に基づく解説が聞けることです。以下に主な資料のタイトルを紹介いたします。(これらの資料は幹事会でも紹介されています。)

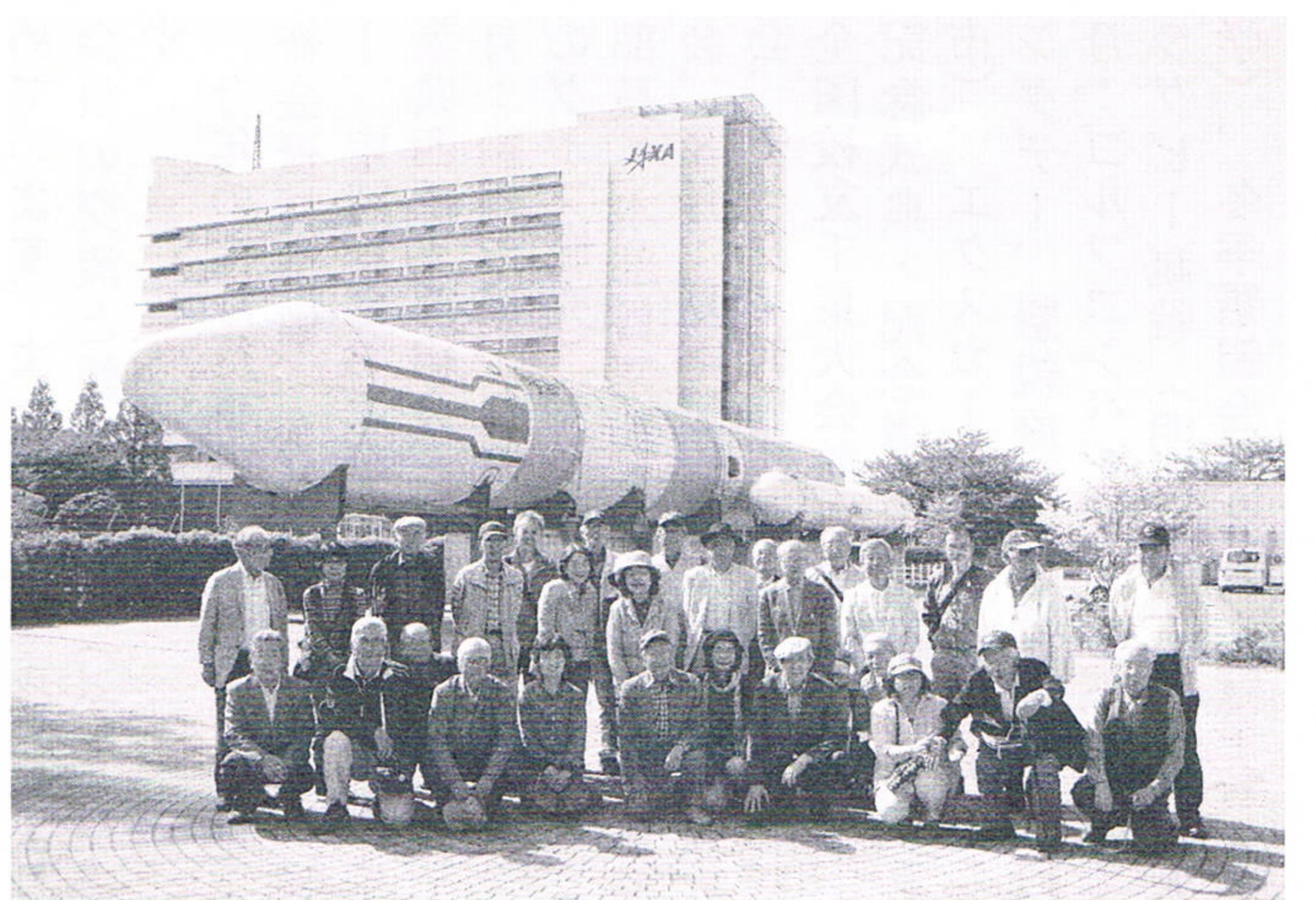
- ①横須賀軍港巡り―旧日本海軍主力艦艇リスト
- ②流山市基本情報
- ③明治大学基本情報
- ④高齢者が遭遇するリスク(家庭内事故)
- ⑤我が国の自然災害の特殊性
- ⑥若者に対するアンケート調査など
- ⑦日本の姓・世界の姓など

バスハイクの企画は数名の幹事が中心となって検討して、絞り込んだ見学先を幹事会に提案し、幹事会で最終決定をします。見学先との具体的な交渉は、幹事長と副幹事長が行います。今春のバスハイクについては見送りとされております。秋についても千葉大会との兼ね合いでまだ開催するかどうか、未定です。

流山地域支部の会員・幹事の年齢構成は、他の地域支部同様に年々高くなっており、幹事会でも会員の若返りの方法を模索しておりますが、これといった妙案のないのが実情です。

校友会全体の懸案事項として、校友会に対策検討委員会の設置をお願いすることが急務と考えている次第です。

(昭44年院工修士課程修了 菊池雅史)



我孫子地域支部

日帰りバス旅行

当地域支部の、主たる年間イベントの一つに、日帰りバス旅行があります。本イベントが、正式に制度化したのは、平成23年からです。それ以前は、有志による企画で、散策や、工場見学など小規模のものでした。

日帰りバス旅行の目的は、校友会会員同士の交流は勿論、我々校友会活動を、陰で支えていただいている奥様との交流を図ることも大きな目的としてあります。昨今の、新旧会員の変化のなかで、僅かながら奥様の旅行への参加が、増加傾向にありますので、今後、益々奥様同伴で参加していただくことを、期待して居ります。

一方、母校、明大マンドリンのチャ

リテイ演奏会が、東葛地区でも徐々に認知され、多くのファンの方々に支援されるようになり、なんとかチケットの販売も向上し、僅かながら剰余金を計上出来るようになりました。当然、後援先の本市の教育委員会・社会福祉協議会に、その一部を贈呈することが出来るようになり、関係筋から、大変感謝されて参りました。平成23年の演奏会は、「東日本大震災復興支援チャリティ演奏会」と称したため、多くのファンから協賛を頂き、多大な義捐金を、日本赤十字社や関係筋に贈呈することができました。実行委員会をはじめ校友会の会員は、チャリティ演奏会の、有意義な存在を改めて認識いたしました。

当市には、「福祉バス」利用制度があり、市が認めた高齢者団体に当地域支部が承認され、昨年まで毎年利用させていたきて居ります。本制度は、市からドライバーと車両(バス)を提供していただき、利用者が燃料代(軽油)や高速料金、その他経費を負担します。一日の運行時間は、午前8時30分から午後5時までとし、一日の運行範囲は、往復250キロメートル以内とします。費用負担が軽減出来るため、昨今では利用者が増加し、抽選による選別が行われている現状です。(申込み時点で、利用日を第1、第2、第3希望まで記載しています)平成23年以降、実施した日帰りバスを振り返ってみました。平成23年 ハム・ソーセージ工場見学、水郷佐原水生植物園観賞、佐原景観地区散策 26名参加平成24年 小泉酒造見学、鴨川平野の

大山千枚田散策、勝山漁港「なぶな」お食事 32名参加平成25年 横浜みなとみらい21散策、中華街「華正樓」食事、赤レンガ倉庫見学 27名参加

平成26年 ひたち海浜公園散策、那珂湊港「やまき」食事、「めんたいパーク大洗」見学28名参加平成27年 城ヶ島公園散策、三崎館本館「まぐる刺身膳」食事、「うらり」お買物 26名参加

平成28年 最後の築地市場見学・お買物、すしざんまい本膳食事、スカイツリー登頂 27名参加平成29年 長瀨ライン下り、有隣倶楽部「竹善料理」、宝登山ロープウェイ登頂 25名参加

平成30年 房総の旬の伊勢海老の吟味、名工「波の伊八」の軌跡を訪ねる26名参加最近のバス旅行の傾向として、一に食事、二にお買物、三に観光、四に体験の順になっているので、この傾向を参考にし、会員の意見を聴取し、今後のバス旅行を企画・立案する予定です。(昭31年法卒 萩谷常夫)

市川地域支部

外環道開通と道の駅「いちかわ」オープン

昨年の市川市の大きな出来事として外郭環状道路の開通と道の駅「いちかわ」のオープンがありました。6月2日(土)の外環道の開通に先駆けて、4月7日(土)市川市国分6丁目の外環道沿いに都心に一番近い道の駅「い

ちかわ」がオープンしました。三番瀬で取れた海苔などの地元特産品の販売所「メルカートいちかわ」や、地域で採れた食材を使ったイタリアンレストランの「トラットリア・アルポント」、ゆったりくつろげる「いちカフェ」などがあります。ヨガ等を体験できるカルチャースクールなども開設しています。皆さん、ぜひお立ち寄りください。

外環道の松戸市川部分の高速道路部(三郷南IC高谷JCT間)と同整備された国道298号の開通については、1969(昭和44)年に計画が決定してから50年もの歳月をかけて、ようやく全線の開通に至りました。外環道の松戸市川部分には多くの歩道橋が設置されていますが、開通の日には近くの住民が、歩道橋の上に登って下を通る車を見物していた姿がみられました。

また側道と自転車道、歩道の一部は工事継続中で今しばらく掛かりそうですが、市川市にとっては市内の道路事情に大きな影響を及ぼす事になりました。周辺地域の抜け道や千葉県道1号市川松戸線の万年渋滞がほぼ解消し、交通安全、騒音減少など、市民にとって環境改善となっています。私も自転車道の一部の未開通部分を迂回しながら、市川市高谷から松戸市の外環松戸トンネルまでサイクリングしてみました。周辺の住宅地との間は植樹されていたりして環境への配慮があるなど感じました。市川地域支部ではいくつかの同好会があります。ハイキング同好会では9月19日、サッポロビール千葉工場見

学ツアーを実施。好天に恵まれ穏やかな潮風を浴びて、ビール工場側の岸壁に係留された南極観測船「SHIRASE」を見学しました。12月2日には秩父宮ラグビー場で行なわれた関東大学ラグビー対抗戦明早戦応援会も実施しました。試合は残念ながら27対31で惜敗でしたが、その後の大学選手権では天理大学を下し、22年ぶりに見事優勝という夢を実現してくれました。

また、市川地域支部としては初めての試みとして、11月29日「チャレンジ料理教室」を市川市男女共同参画センター調理室(市川西消防署の6階)で開催しました。市内の鬼高で「飾り巻き寿司教室gufu」を主宰されている飾り巻き寿司インストラクターの大野由美子先生の指導で、皆様なエプロンを着けて、「もも」の花とパンダの飾り巻き寿司に挑戦しました。次の第2回はいつ開催になるのかなどの声もあり、好評のうちに初めての料理教室は終了しました。(昭47年政経卒 明村澄雄)



地域支部イベントのお知らせ

今年も各地域支部が地元に着したイベントを行います。

◇船橋地域支部

「ホースセラピー（乗馬療法）」共催

日時・・・5月
場所・・・天沼弁天池公園（船橋市）
内容・・・体温の高い馬に乗ることにより、馬の様々な動きが関節までおよび、マッサージ効果が得られると共に、心理的な癒しの効果も得られるとのこと。

「ふなばし市民まつり」参加

日時・・・7月
場所・・・船橋市内
内容・・・明治大学のPRと明大グッズの販売

◇柏地域支部

「秋の大掃除2019」参加

日時・・・10月
場所・・・高田緑地周辺（新堤橋～昭和橋）
内容・・・大堀川の水辺をきれいにする



◇市川地域支部

「いちかわ市民まつり」参加

日時・・・11月
場所・・・大洲防災公園（市川市）
内容・・・明治大学校友会のブースを出店し、明治大学のPRと会員募集

第十六回 千葉県西部支部 総会・懇親会のお知らせ

◇日時 令和元年6月16日（日）午後1時～

◇会場 柏日本閣

◇会費 六千円（懇親会）

第二十二回「ホームカミングデー」のお知らせ

開催日 令和元年10月27日（日）

会場 明治大学駿河台キャンパス全域

（リビティタワー、アカデミーコモン、グローバルフロント）

明大ラグビー、22年ぶりの日本一

1月12日、秩父宮ラグビー場で開催されたラグビー大学選手権の決勝戦において、明大は22年ぶりに天理大を破り、22年ぶりに大学ラグビー日本一に返り咲きました。

明大は昨年のラグビー対抗戦で帝京大を破ったものの、慶応大、早稲田大にいずれも4点差で惜敗し、大学選手権には対抗戦4位枠で出場しました。大学選手権では、準々決勝の東海大に3点差、準決勝の早稲田大に4点差と、いずれも接戦を勝ち抜き、決勝進出を果たしました。これに対し、関西王者の天理大は準々決勝で大東文化大を一蹴、準決勝では10連覇を狙う本命帝京大を大差で破り、破竹の勢いで決勝に進出しました。

会場の秩父宮ラグビー場は収容人数が少ないので、私たちは明大の決勝進出が決まらないうちにチケットを購入しましたが、それでも良い席が確保できず、天理大応援の真ただ中で明大を応援することになりました。

試合はチームプレーに優れ、動きの素早い明大に対し、個々の選手の力強さが際立つ天理大という印象でした。試合開始直後に先制点を許したものの、素早いパスにより逆転して前半を12-5で終了、後半に入っても明大の勢いは衰えず、一時は22-5まで引き離しました。しかし、そこから立て続けに2トライゴールを取られ、一気に5点差まで詰め寄せられました。その後、一進一退の攻防を繰り返す中で、念願の優勝を果たしました。負けたら終わりのトナメント戦を接戦に次ぐ接戦で制した明大ですが、勝敗はいつも紙一重のように感じました。

試合終了後の天理大応援団の紳士ぶりは印象的でした。天理大側から見ると、圧倒的なアウェーで「メイジコール」が響き渡るなか、劣勢をなんとか盛り返したものの、「あと一步のところまで時間切れで負けた」ように感じました。にもかかわらず、試合終了後、彼らは私たちに「おめでとう」と声をかけてくれたうえ、明大の優勝をたたえてくれました。ノーサイドの精神を何事もなく実践した天理大応援の人たちに迫力を感じました。

（昭53年工卒 山田秋彦）

千葉県西部支部ではホームページとブログを運営しています

千葉西部支部のホームページでは、千葉西部支部総会を始めとして、全国校友大会、各地域支部のイベント、明治大学のホームカミングデーやスポーツの話題などを掲載しており、会員の皆さまとのコミュニケーションを深めるために運営しています。ご意見や情報をどしどしお寄せ下さい。



【ホームページとブログの閲覧方法について】
インターネット・エクスペローラなどのウェブブラウザのアドレスバー（現在閲覧中のウェブページのアドレスが表示されている場所）に、下記のURL（閲覧したいホームページなどの宛先アドレスのことです）を入力してエンターキーを押して下さい。
URL : <http://chibakoyu.dip.jp/>

各地域支部の総会・懇親会

- ☆我孫子 4月28日 鈴木屋
- ☆市川 5月12日 山崎製パン企業年金基金会館
- ☆流山 5月18日 割烹せきや
- ☆柏 5月19日 ハート柏迎賓館
- ☆浦安 5月25日 浦安ライオンホテル東京ベイ
- ☆船橋 5月26日 船橋グランドホテル
- ☆松戸 11月10日 聖徳大学10号館

編集後記

編集長になりました浦安地域支部の服部です。全国大会目前の今号は感慨深いものがあります。個人的には下見を兼ねて滋賀・新潟・石川の全国大会に参加し、年初からは大阪、東京、京都などで告知をしてきました。全国大会は「遅れてきた学園祭」です。大学生に戻った気で頑張りますよ。

編集委員

- 服部 真樹（編集長・浦安）
- 宇津野史行（松戸）
- 山田 秋彦（柏）
- 太田 出（我孫子）
- 山崎とよ子（船橋）
- 明村 澄雄（市川）
- 川根 正教（流山）
- 武士田卓志（幹事長）

（服部 記）

